

北秋田市地域公共交通網形成計画(案)パブリックコメントに対する検討結果について

NO	意見等	検討結果
1	<p>正直な意見を生意気かもしれませんが、書かせていただきます。</p> <p>こういう、交通網形成とか学校統合とか人口減少問題とか空き家問題とかいろいろな問題を、いろんな所でバラバラに考えているのでは無いかと思います。これらって、そもそも各々を各々で考えるものなんでしょうか？？そこが一番の問題な様な気がします。</p> <p>人が居なきゃ、汽車にも乗らないしバスもならないし学校に行く子供も少なくなっていく。誰でもわかる事なんでしょうがそれを各々答えを出したところで、総合的な問題の答えにはリンクしてこないと思います。折角の総合政策課であれば、そういう観点で考えていただきたいと思います。</p> <p>普通は、地域の中心ってのは真ん中に来るのでコアと呼ぶのですが、北秋田市の場合はコアが土地の中心ではなく、偏芯してる事を十分に留意して考えていただきたいと思います。コアが暖まらなくては、他が暖まるわけもなく鷹巣の商店街は相変わらずのシャッターは閉まったまま。人口分散は、経費が嵩むから思い切って小世帯地区の地区移動とか、ある程度の思い切った事を考えるのも当然批判あるでしょうが、必要な事ではないかと思えます。</p>	<p>貴重なご意見を賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>■各課題・問題へ個別の対応となっているというご意見について この度の地域公共交通網形成計画の策定にあたっては、これまでの行政・交通事業者だけで考える公共交通計画ではなく、市全体の将来像を踏まえ、まちづくりや観光等と連携することが基本となっております。</p> <p>P.15に課題の概要を示しておりますが、ご指摘のとおり、現状ではまちづくり等と公共交通の連携が不足しておいた側面があり、本計画ではこれを課題として捉え、解決に向けた施策・事業を推進することとしております。</p> <p>また、昨年度、人口減少の克服に向けて策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても公共交通に関する事業等を示しておりますが、本計画では総合戦略を関連計画として位置づけ、連携・整合を図った取り組みを行ってまいります。</p> <p>■中心市街地の活性化に対するご意見について 施策・事業においては、公共交通ネットワークの再構築だけではなく、まちの活性化や市民の方の外出機会の創出に向けた公共交通の取り組みについても本計画に示しております。</p> <p>P.26に示す市街地循環線の導入による中心市街地の活性化やまち歩きの創出、P.38に示す観光・商業との連携施策の展開など、公共交通の視点から市街地の活性化に向けた取り組みを行ってまいりたいと考えております。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は免許更新ごとに返納勧告される。対策には週2回はバスの利用を要する。 ・病院前にバス停がほしい。 ・各自治会でバス停休み場をつくってほしい。 ・推進は自治会長会、老人クラブ、高鷹大学等で検討してほしい。 ・スクールバスと通院時間は共通するので路線バスとの組み合わせ。 ・観光と路線バスの連携については、伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録が有力になった現在、観光客の増加が見込まれる。まず駅名を「小ヶ田伊勢堂岱」と改名し、全国PR。北海道新幹線・北空港・高速道圏の宣伝に努める。 ・冬の薬師・阿仁スキー場の誘客対策は、初心者・子供には危険。専門技術者による改良を要する。両スキー場共接客マナーの研修必要。 ・2、3日の宿泊旅行者のため県北関係市との提携計画要する。 ・伊勢堂岱ボランティアは消滅近い。ジュニアボランティアも学業との両立困難。新たなボランティア組織づくりが急務。 	<p>貴重なご意見を賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>■自治会及び地域との連携について 本計画においても、将来的に持続可能な公共交通を維持・確保するためには、行政・交通事業者だけではなく、地域や各主体と連携した取り組みが必要であると考えており、P.37から示す「連携・協働プロジェクト」を位置付け、施策展開を図ることを目標としております。</p> <p>また、バスの待合環境等においても、P.29から示す「交通環境改善プロジェクト」において、誰もが利用しやすい環境づくりを図ることを目標としております。</p> <p>今回のご意見を踏まえ、本計画に掲げるプロジェクトを着実に実施し、より良い公共交通を構築していきたいと考えております。</p> <p>■観光振興に対するご意見について 本計画の策定趣旨の一つとして、観光を含めたまちづくりと公共交通が連携したネットワーク形成が重要と位置付けております。</p> <p>P.36の施策3-3やP.38の施策4-1等の観光と公共交通が連携した取り組みの推進により、来訪者の移動手段を確保するとともに、本市における観光振興へ寄与する公共交通を構築したいと考えております。</p> <p>伊勢堂岱遺跡やスキー場等も本市の貴重な観光資源として捉え、公共交通が関連した施策展開等を検討してまいりたいと考えております。</p>